

平成28年度事業計画（案）

昨年、我々北陸に住む者にとって、長年の悲願であった北陸新幹線が開業しました。このことにより、北陸の中でも金沢の認知度は凄まじく、首都圏のみならず、日本全国からまた、海外からも多くの観光客に来ていただき、新幹線効果が目に見えて実感できた昨年でありました。

また、開業2年目となる本年度も多くのコンベンションが予定されているところであり、私たちは、引き続き来街の方々に「おもてなし」の心で接していかなければなりません。

さらに、昨年11月に開催された第1回金沢マラソンは、1万2千人のランナーを迎え、金沢のまちの魅力を十二分に堪能していただけたものと思っており、金沢市町会連合会や校下婦人会の皆様と共に取り組んだ沿道や応援スポットでの一生懸命の応援は、ランナーの大きな感動を呼び高い評価をいただいたものと自負しています。

さて、金沢市は、生涯学習の一層の振興を図るため、先般、平成28年度から10年間の「金沢市生涯学習振興基本計画」を策定されました。その基本理念は、「ともに学び ともに拓く 創造性あふれる 金沢のひと・まちづくり」であり、「社会の変化に対応し、新たな自己を開拓することのできる学び」、「ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心を持つことのできる学び」、「仲間とともに手をつなぎ、課題を共有し、解決することのできる学び」など、市民と行政がともに目指す5つの学びの姿が掲げられています。

金沢の公民館は地域の最も近いところにある社会教育施設として、今後ますますその役割が重要になって行くことは論を待たないところであり、この生涯学習振興基本計画の実践者としての役割や、まち・ひと・しごと創生法や「金沢市人口ビジョン」などを踏まえて策定された金沢版総合戦略で示された具体的な施策の遂行者としての役割も期待されていると考えております。

そのため、すべての公民館関係者が相携えて下記のことに取り組んで行くことを誓い合うものであります。

1. 地区公民館相互の連携強化を図る。
2. (継) 第54回東海北陸公民館大会の準備を深化させる。
3. (継) 市公連ホームページ及び機関誌の発行にかかる。
4. (新) 公民館職員(事務員)の職務内容、勤務条件の検討を行う。
5. 安全・安心のまちづくりの観点からも、常に防災意識を持つ。
6. 各種団体との連携を深める。特に秋のツーデーウオークや第2回金沢マラソンの成功に向けて協力を図る。
7. 役職員等の研修の充実と資質の向上を図る。
8. 都市間交流の推進に努める。

平成28年度 月別事業計画（案）について

月	日	事業名
4	8	会計監査
	14	役員選考会、第1回理事会
	25	(市)館長会議、市公連総会
5	19	県公連定例理事会・総会（県青少年研修センター）
	24	新任館長研修
6	23, 24	館長県外研修（甲府市）
7	上旬	公職連との懇談会
	下旬	町会連合会、校下婦人会との懇談会
8	下旬	市町公民館事務担当者会議（県平和町庁舎）
9		
10	6	第68回石川県公民館大会（能美市）
	20, 21	第53回東海北陸公民館大会・館長県内研修（高山市）
	23	（第2回金沢マラソン）
11	中旬	館長、主事合同研修会
29年 1	中旬	(市)新年館長懇談会
2	上旬	第13回高岡市公民館フェスタ
	9	県公連市町公民館長研修会
	19	第54回金沢市公民館大会・公民館フェア「楽集」

■理事会の開催（予定）

4月14日、6月上旬、7月中旬、9月下旬、10月下旬、11月下旬、1月中旬、3月中旬（但し、必要に応じて開催する。）

■専門委員会の開催

- ・（新設）公民館職員（事務員）雇用条件等検討プロジェクトチーム
- ・（継続）第54回東海北陸公民館大会準備委員会（県公連設置）

■その他

- ・視聴覚広報委員会及び文化部協議会への活動支援
- ・金沢市各種団体事業への参画と支援